



平成28年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



平成28年1月6日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <http://www.bs11.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 齋藤 知久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略局長 (氏名) 平山 直樹 (TEL)03 (3518) 1900
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第1四半期の業績 (平成27年9月1日～平成27年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第1四半期	2,466	16.3	618	9.4	618	10.8	430	20.4
27年8月期第1四半期	2,121	15.4	565	46.3	558	40.4	357	△1.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年8月期第1四半期	24.18		—					
27年8月期第1四半期	20.08		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第1四半期	14,347	13,250	92.4
27年8月期	14,942	13,087	87.6

(参考) 自己資本 28年8月期第1四半期 13,250百万円 27年8月期 13,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年8月期	—	—	—	—	—
28年8月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成27年8月期の期末配当金15円00銭には、東京証券取引所市場第一部指定記念配当金1円50銭が含まれております。

3. 平成28年8月期の業績予想 (平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,850	11.4	910	△18.3	910	△17.0	567	△20.0	30.89
通期	10,200	15.1	2,000	2.0	2,000	4.6	1,350	11.0	75.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年8月期1Q	17,802,832株	27年8月期	17,802,832株
28年8月期1Q	94株	27年8月期	94株
28年8月期1Q	17,802,738株	27年8月期1Q	17,802,738株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策及び日本銀行の金融緩和政策を背景に、企業収益や雇用情勢は改善傾向が続き、個人消費も底堅い推移となり、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、物価の上昇や新興国経済の減速などにより、依然として先行きは不透明な状態が続いております。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の70.8%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ）で推移しており、またBSデジタル放送事業を含む衛星放送メディア分野の広告費は前年比で9.6%の伸長、中でもBS放送の広告費は、前年比で12.8%増と好調に推移しております（「2014日本の広告費」(株)電通調べ）。

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで 人々に感動を与え 幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として、良質な番組制作に引き続き邁進いたしました。

平成27年10月の番組改編では、視聴世帯数の増加を目的として、尾上松也氏をメインに若手歌舞伎俳優が古地図を手に各地を巡る『尾上松也の古地図で謎解き！にっぽん探究』、タレントの関根勤氏が扮する“家電の神様”が最新家電製品の情報や便利な使い方をホームドラマ形式でお届けする『おしえて！家電の神様』、声優の久保ユリカ氏がアニメ・ゲームなどの情報を11の切り口で旬なゲストと共に紹介する情報番組『アニゲー☆イレブン！』の放送を開始いたしました。このほか平成27年10月には『JOCジュニアオリンピックカップ 第34回全日本ジュニアバドミントン選手権大会』、『平成27年度 全日本学生柔道体重別選手権大会』、同年11月には『第67回全日本馬場馬術大会2015 Part 1』を放送し、前年度から引き続きスポーツコンテンツの充実を図っております。

また、BS初登場の韓国ドラマとして『願いを言ってみて』、その他話題の作品にこだわったドラマ編成等が、売上増加に寄与いたしました。

費用面につきましては、引き続き番組関連費用等の効率的なコントロールに努めながら、番組宣伝のための施策として、全国紙・地方紙への広告出稿を戦略的に実施したほか、『尾上松也の古地図で謎解き！にっぽん探究』に特化し、集中広告宣伝を実施したほか、平成27年9月からラジオ大阪、東海ラジオ、ラジオ日本とのコラボレーション施策を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,466,976千円（前年同期比16.3%増加）となりました。営業利益は618,606千円（前年同期比9.4%増加）、経常利益は618,643千円（前年同期比10.8%増加）、四半期純利益は430,404千円（前年同期比20.4%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ595,125千円減少し、14,347,155千円（前事業年度末比4.0%減少）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が120,043千円増加したものの、現金及び預金が749,426千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ758,489千円減少し、1,096,490千円（前事業年度末比40.9%減少）となりました。主な要因は、未払法人税等が318,460千円、流動負債のその他が457,159千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ163,363千円増加し、13,250,664千円（前事業年度末比1.2%増加）となりました。この要因は、利益剰余金が前事業年度の期末配当金267,041千円の支払により減少したものの、四半期純利益430,404千円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月期の業績予想につきましては、平成27年10月7日付の「平成27年8月期 決算短信」で公表しました業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,131,997	5,382,571
受取手形及び売掛金	1,499,318	1,619,361
番組勘定	91,213	75,634
その他	170,547	159,008
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	7,892,978	7,236,476
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,491,749	2,477,534
土地	4,034,756	4,034,756
その他(純額)	307,287	378,829
有形固定資産合計	6,833,793	6,891,120
無形固定資産	18,799	20,116
投資その他の資産	196,710	199,442
固定資産合計	7,049,303	7,110,679
資産合計	14,942,281	14,347,155
負債の部		
流動負債		
買掛金	228,031	251,657
未払法人税等	514,300	195,840
その他	1,040,621	583,461
流動負債合計	1,782,953	1,030,959
固定負債		
退職給付引当金	41,074	43,262
その他	30,951	22,268
固定負債合計	72,026	65,531
負債合計	1,854,979	1,096,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,183,198	4,183,198
資本剰余金	3,516,989	3,516,989
利益剰余金	5,387,209	5,550,572
自己株式	△96	△96
株主資本合計	13,087,301	13,250,664
純資産合計	13,087,301	13,250,664
負債純資産合計	14,942,281	14,347,155

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)
売上高	2,121,160	2,466,976
売上原価	971,014	1,120,115
売上総利益	1,150,145	1,346,860
販売費及び一般管理費	584,740	728,254
営業利益	565,404	618,606
営業外収益		
受取利息	93	93
その他	172	203
営業外収益合計	265	296
営業外費用		
支払利息	472	259
休止固定資産減価償却費	6,609	—
営業外費用合計	7,081	259
経常利益	558,588	618,643
特別損失		
固定資産除却損	19	—
特別損失合計	19	—
税引前四半期純利益	558,569	618,643
法人税、住民税及び事業税	74,633	168,542
法人税等調整額	126,515	19,696
法人税等合計	201,148	188,239
四半期純利益	357,420	430,404

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。